

平成20年7月11日

貧酸素水塊速報 (2008年)

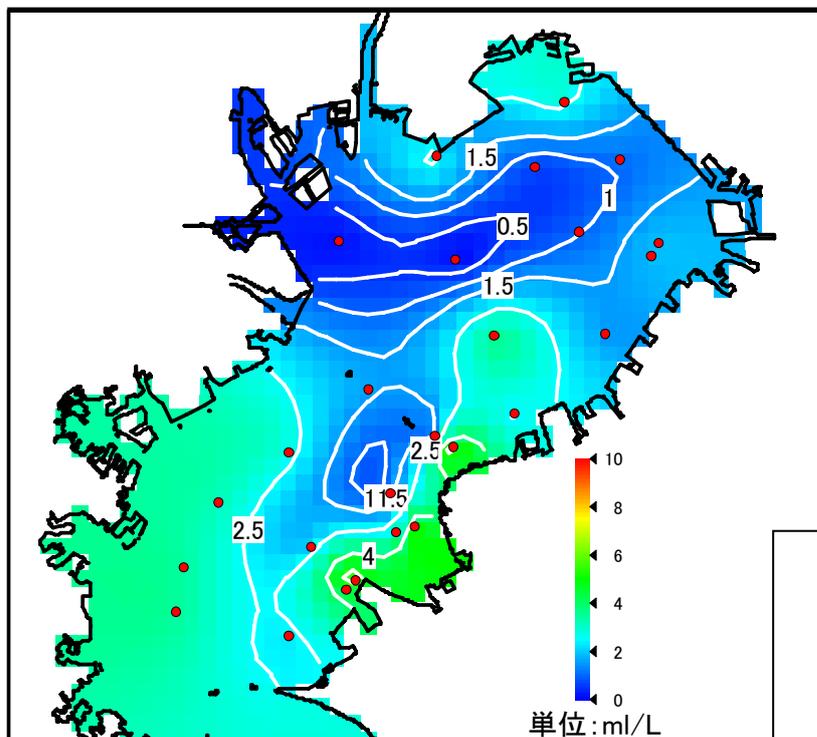
- 千葉県水産総合研究センター(編集)
- 神奈川県水産技術センター
- 内湾底びき網研究会連合会(千葉県)
- 協力:海上保安庁海洋情報部
- 協力:千葉県環境研究センター
- 協力:東京都環境局
- 協力:第三管区海上保安本部
- 協力:国立環境研究所

平成20年7月8日観測結果

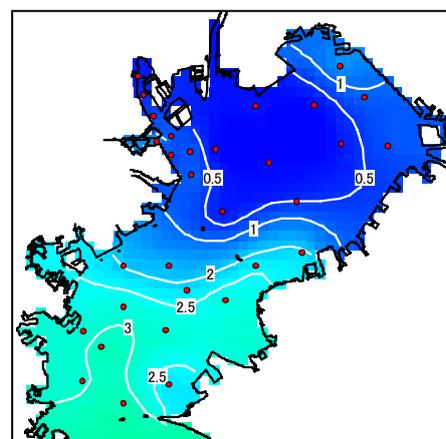
内湾底びき網研究会連合会による調査結果です。調査に参加された方はお疲れ様でした。

貧酸素水塊は引き続き広範囲に見られますが、7月2日より貧酸素化は弱まりました。特に東岸で貧酸素化が弱まりました。これは、7月2日から連吹する南西風で表層水が東岸に吹き寄せられ沈降したためと考えられます。しかし、一時的な現象で今後再び貧酸素化するので注意が必要です。

水温は表層23~25℃、底層16~23℃でした。水深の深い場所では、表層と底層の水温差が7~8℃に達しました。底びき網漁業等では、漁獲物の取り扱いに注意してください。



底層の溶存酸素量分布



7月2日の溶存酸素量

酸素飽和度と溶存酸素量の目安

酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5ml/L	貧酸素水
30~40%	2.0ml/L	魚類に影響
	1.5ml/L	貝類危険
	1.0ml/L	
10%	0.5ml/L	